

記念講演 II

生活者 (SEIKATSUSHA) 共創社会の実現に向けて

櫻田 謙 悟

SOMPOホールディングス株式会社
グループCEO取締役代表執行役会長

目 次

1. 価値とは何か—新しい企業価値評価の探求—
2. 生活者 (SEIKATSUSHA) 共創社会

1. 価値とは何か—新しい企業価値評価の探求—

(1) 時価総額と企業の価値

テスラと主要自動車メーカーを比較すると、販売台数では、テスラ以外のメーカーが圧倒的に多い(注1)。テスラの販売台数は100万台に満たないが、4,000万台弱の車がテスラ以外のメーカーからマーケットに供給されている。ところが時価総額をみると、100兆円弱のテスラに対し、テスラ以外では最も時価総額が大きいトヨタですら、テスラの3分の1強という状態である(注2)。時価総額が企業の価値だとすると、テスラはトヨタの3倍の価値があるということになる。時価総額は、その企業の未来に対する価値を現在に引き直した結果であり、それだけマーケットが期待しているとも考えられるが、テスラの企業価値はトヨ



タの3倍だというのは妥当なのだろうか。

東証1部(当時)上場企業(2,182社)とGAFAM(グーグル(現アルファベット)、アップル、フェイスブック(現メタ)、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフトの5社)の時価総額を比較すると、2020年にGAFAMの時価総額が東証1部上場企業を超過し、2021年には大きく差を広げられてしまった(注3)。2021年末時点では、GAFAMのうちアップル、マイクロソフト、アル

(注1) 主要自動車メーカーとは、日欧米の主要7メーカーグループ(トヨタ、VW、メルセデス、BMW、GM、フォード、ステランティス)。販売台数の比較は2021年度。

(注2) 時価総額は、2022年7月12日時点の推計値。

(注3) GAFAMの時価総額は、2021年12月末時点の推計値。